

種子島産ロベレニーが「かごしまブランド」に認定！ ～国内シェア拡大へ、高品質な「葉物の島」として躍進～



▲南種子町ロベレニー部会長の豊島一満さん

このほど、JA種子屋久が出荷する観葉植物「フェニックス・ロベレニー」が、令和8年5月7日付で、鹿児島県より「かごしまブランド産品」の認定を受けました。認定期間は令和12年度までの5年間です。

「かごしまブランド」とは、県を代表する農畜産物のうち、品質や出荷体制が特に優れ、信頼性の高い産地が受ける称号です。今回の認定により、県内トップブランドとしての地位を確立し、市場でのさらなるPRと有利販売の展開が期待されます。

フェニックス・ロベレニー（和名：シンノウヤシ）は、霜の降りない温暖な気候を好むため、種子島は絶好の栽培適地です。現在は南種子町を中心に島内全域で生産され、その切葉は花束や祭壇用として全国の市場から高い評価を得ています。

栽培は、定植後の管理や収穫が比較的軽作業であり、大規模な機械投資を抑えられる点や、台風比較的強いといった特性から、近年は若手の生産者が、規模拡大を検討するケースも増えています。

当JAでは今回のブランド化を機に、販売ロットの集約や市場ニーズに基づいた戦略的な出荷を強化し、農家所得の向上に繋げていく方針です。

当組合の令和8年度は、生産者数52名、作付面積7.8ha、数量767千本、販売金額30,680千円を見込んでおります。

